

1 審議会名	上田市障害者施策審議会
2 日時	令和3年1月20日 午前11時00分から午前12時10分まで
3 会場	上田市役所 本庁舎 6階 大会議室
4 出席者	伊藤委員、遠藤委員、小沼委員、片山委員、小池委員、小林(彰)委員、小林(功)委員、 櫻井委員、佐藤委員、中村委員、花岡委員、古川委員、宮下(寿)委員(星合委員代理)、 宮下(千)委員、吉池委員
5 市側出席者	近藤 福祉部長、堀内 障がい者支援課長、 水野 子育て・子育て支援課長、小宮山 発達相談センター次長 小平 障がい者支援課課長補佐、吉澤 同課係長、弓掛 同課主査、木島 同課主事
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人、記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年2月3日
協 議 事 項 等	

- 1 開 会
- 2 福祉部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 協議事項 (司会) 会長
 - (1) 第3次上田市障がい者基本計画・第6期上田市障がい福祉計画・第2期上田市障がい児福祉計画(案)について

【事前資料】に基づき事務局から説明

質疑応答

(委員) p.18の統計資料に解説が加えられたのはよかったと思うが、「障がい児を対象とした事業給付費の支出状況」が増加傾向にある理由については、早期発見・早期療育という点ばかりではなく、放課後等デイサービスの数字の伸びが大きい理由については、特に「障がいのあるお子さんの放課後及び長期休暇の居場所の確保が大いに進んだ」という理由があげられるのではないかと。追記を検討いただきたい。

(事務局) 放課後等デイサービスの伸びが顕著であるということで、具体的理由についてもご意見いただきましたので、解説の文言修正について事務局で再検討し、追記したいと考えます。

(委員) p.62の最下部、災害時の避難所における環境整備に関連して、福祉避難所は上田市に16か所であると伺っているが、移動手段などを考えると少ないのではないかと思います。どういった人が利用できるのかご教示いただきたい。

(事務局) 現状から申し上げますと、特別養護老人ホームなど入所施設については福祉避難所として協定を結んでいる。十分かどうかという点や、福祉避難所としての機能といった点などいくつか課題もあるため、今後の事業展開に当たり危機管理防災課と連携しながら福祉避難所のあり方について協議していければと考えている。

(委員) p.17の(9)特定医療(指定難病)医療費受給者数について、指定難病がなんであるかが分からないため、いくつかあると思うが、何が指定されているのかということを具体的に記載してはどうか。

(事務局) 障がい福祉サービスは指定難病の人も利用できるということで、パブリックコメントも踏まえ、指定難病のある人の人数という現況資料を掲載させていただいている。

指定難病は 300 を超える数があるため、その全てを記載することはできないが、いくつか抜粋して掲載したり、難病の指定数を掲載するという方法もあるかもしれないため、検討させていただきたい。

(委 員) p.7 の計画の位置づけに係る図の中にある関連計画について、第三次上田市民健康づくり計画や第 2 次上田市子ども子育て支援事業計画のように、次数が漢数字のものとアラビア数字のものとあるが、統一できないのか。

(事務局) 関係各課が作成しているため、当課では漢数字で策定された他課の計画の表記を変えることができない。また、庁内で漢数字とアラビア数字のどちらを用いるのかといったルールは今のところ存在していないため、ご指摘のとおり混在している状況。

ただし、本計画については、今後も継続していく計画であることを踏まえ、第二次障がい者基本計画は漢数字であったが、第 3 次からはアラビア数字とし、基本計画と福祉計画とで統一してまいりたい。

(委 員) p.85 の最下部について、修正前については「障がいのある児童生徒が差別的な取り扱いを～」といった課題と施策の方向性の記載があるが、修正後にはこの記載がないのは、この項目を削除したということによろしいか。

(事務局) p.85 については、パブリックコメントを踏まえての追記があるため、レイアウトが変わっている。「障がいのある児童生徒が差別的な取り扱いを～」といった課題と施策の方向性の記載については、レイアウトの変更に伴い p.86 に記載することとなった。内容の変更ではないため、資料として添付していなかったが、分かりづらかった点は申し訳ない。

(2) パブリックコメント（意見公募）の結果について

【当日資料】に基づき事務局から説明

【質疑応答】特段、意見等はなし。

(会 長) ほかに質疑がないようであれば、多少の検討事項はあるが、事務局に一任し、この計画案について審議会としての答申案としてよいか。

(一 同) 承認

(会 長) 本日が最後の審議会となるので、各委員から一言ずつ感想等をいただきたい。

(委 員) この会に参加させていただき、毎回緊張して出席していた。資料を読み込んでもまとまった意見を言えないこともあったが、当事者家族がいるということで、こういう機会を得て大変参考になった。これからもよろしくお願いいたします。

(委 員) 良い計画が策定されるので、地域の人にこの計画が知れ渡るように努力していただきたい。当事者でも知らないこともあるので、地域ではなおさら知らないこともあると思う。皆に知っていただいて、より良い障がい福祉を目指していただきたい。

(委 員) 上田養護学校の児童生徒数を記載していただいているが、養護学校はますます増加する見込み。現時点で合格発表はまだであるが、高等部の受験者数が 38 名。高等部だけでも増えるということであり、中部部からの進級も踏まえると、年々増えているのが実態である。

福祉避難所の話もあったが、残念ながら上田養護学校はハザードマップで危険区域になっている。昨年度の台風の際もギリギリまで水が来ていた。幸い土日であったので避難をすることはなかったが、昨年度も今年度も引き渡し訓練の内容を大幅に見直した。近隣施設に避難する計画であったが、手狭であることや雨が降っている中子供たちを連れて安全に避難できるのか、といったことを踏まえ、スクールバスの利用や、想定されるより早く避難を始めるなどの対策をとることとした。

あらゆる関係者の皆様で支え、子供たちをまもっていけるよう、引き続き関係の皆様のご尽力をお願いしたい。

(委員) 障がい当事者でなければ分からないこともあると思うが、民生委員の立場でいえば、障がいのある人の家族への支援も大事ではないかと思う。障がい者家族に寄り添えるような計画、充実した計画になればよいと思う。良い経験をさせていただきありがとうございました。

(委員) 計画に法定雇用率について増えている部分がある。障がい者の法定雇用率については、御承知の方も多いと思うが、今年3月に引き上げが予定されている。地方公共団体については2.6%に引き上げられる。

ハローワークにおいても障がい者雇用についてはいろいろな場面で周知を図っているところであるが、障がい者の雇用促進を図る上で法定雇用率は重要な制度のひとつであると考えている。広報誌への掲載も含め、市の力を借りながら、周知してまいりたい。

なお、パブリックコメントで法定雇用率の公表について言及があったようであるが、長野労働局のHPでは長野県内の全市町村の雇用率、雇用者数を公表しているので、参考にさせていただきたい。

(委員) p.57 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについては、高齢者介護課だけでなく、障がい者支援課も担当課として名を連ねてほしい。

(会長) 今の意見について、事務局どうか。

(事務局) 高齢者介護課が主に関係している部分であるが、当課も当然に関与している部分であるので、修正する方向で調整したい。

(委員) 貴重な会に参加できたことを光栄に思う。障がいのある人の生活がよりよくなるようにと考えてきているが、支援の網目が荒いということをもだまだ感じる。大きな災害があったり、コロナという状況があるなかで、まだまだ手の届かないものがある。支援の穴を小さくしていく（支援から漏れる人を減らしていく）のは地域の力だと思う。地域に対して福祉の根が伸びていくためにどのような仕掛けができるのか、これからも考えていきたい。

(委員) 第3回審議会が開催された令和2年11月25日の1年前は、大阪で一人の知的障がいと精神障がいを抱える人が自殺した日である。事件の概要を申し上げると、当人を自治会から追い出すため、自治会の役員らが本人が障がい者であることやできることできないことを2時間以上にわたって問い詰められ、その内容を紙に書かされたというものである。本人は翌日自殺したという事件である。「障がいは社会が作っている」と報道された事件であった。差別や虐待が二度と起きないように対策を進める必要があると痛感する。

今回とてもよい計画ができたと思っている。計画の実効性を確保して、共生社会の実現が早期に実現することを願っている。

地域包括ケアシステムの構築という計画について、令和5年まで課題の共有と検討ということで検討段階にあるわけであるが、障がい者を支援する体制を作っていくことが大切であるので、早期に検討を進めていただきたい。

(委員) 当初障がい児を持つ父母の会であったが、現在では会員の障がい児はみな成人している。歳を重ねるごとにいろいろな問題も生じてきている中で、とても良い計画ができたと思う。

障がいのある人の助けになればと思い当審議会に参加させていただいた。自分の身に起こっていることについては深く理解しているつもりであるが、それ以外の知らない世界の話聞いて参考に

なった。

- (委 員) 縦の木福祉会は上田市と長和町にまたがっているが、上田市の計画は見たことがなかった。審議会に携わり、よくよく検討がなされて作られていることがわかった。

昨年度の台風災害の際、自分はグループホームの管理者をしていたが、長和町では避難命令が出ており、上田からは出ていなかったという状況があり、いろいろと考えさせられた。

防災については、職員の力だけではどうしようもないと感じた。地域の力が本当に大切。地域の方にこの計画をいかに浸透させ、協力を得られるかが大切だと思う。何かあったら助け合えるような計画であればありがたい。

- (委 員) 大切な会議をご一緒できて感謝している。自分なりにできることはないかと思い、毎回花を飾らせていただいた。今回は、支えあいということで生花だけでなくリボンをつけて飾らせていただいた。コロナが収束し、多くの人が笑顔になれるようにという想いも込めた。

大事な会に参加させていただきありがとうございました。

- (委 員) いろいろな話を聞けて医師としての幅が広がったような気がする。

障がいとは社会が作るという話があったが、人間の歴史を勉強すると、「障がい者は社会の役に立たないので少なくした方がいい」というようなことが100年くらい前までは叫ばれていたが、ここ数十年でこうして共生社会という流れになってきた。

ただ実際のところ、妊婦が胎児に障がいがあると分かれば出産を選ばないということも事実であるし、自分が意思表示をできないような状況になったら早く旅立ちたいというような話もある。

先日、医療者による積極的安楽死の事件があった。数年前には相模原の事件もあった。ここで議論してきたこととは違う想いを抱えている人もたくさんいるはず。意見交換ということが非常に重要であるように思う。

社会をどう形成していくのか。医療倫理、生命倫理は、答えがないが、考えていなければならぬ。いろいろ考える機会を与えられて感謝している。

- (委 員) 防災、防犯など様々な分野があり、そうしたことも見過ごせない大切な分野だと感じた。

次の計画に感染症対策なども盛り込んでいければいいのかなと思う。

- (委 員) 理解がしにくい文言があるという話があったなかで、デザインをつけるというのもひとつの方法かなと思った。絵で見て分かるような表現を取り入れてもよいのではないかな。費用がかかることであるので、デザインをやっている学生に依頼してみるというように、さまざまな協力を得ながら作り上げていくのも手だと思う。

- (会 長) この仕事を始めて42年。42年前は、在宅か施設入所か、しかなかった。その後、措置から契約に変わり、それから在宅支援のなかで、タイムケアなどが始まった。計画を見ると、この数十年で大きく変わってきたということを実感する。

これは行政だけの力だけではなく、様々な関係者が意見を出し合い、地域が協働してきたからこそ発展してきたことだと思う。高齢の方、障がいのある方が、尊厳が守られ、支えあって生きていける社会になるよう、この計画を実行していくことが大切だと思う。私自身、引き続き尽力してまいりたい。

皆さんのおかげで立派な計画ができたと思う。本当にありがとうございました。

- (事務局) 委員のみな様、貴重なご意見ありがとうございました。

第4章の分野別施策の担当課の記載についてのご意見がありましたが、基本的には庁内の複数の課にまたがる施策が多い中で、あえて主な担当課ということで一つにまとめさせていただいた経過もある。こうした経過や本日のご意見を踏まえ、主な担当課に関する考え方や、その他修正事項があれば会長に一任させていただきたいということで御理解いただきたい。

5 事務連絡（答申について）

【答申案の配布】

（事務局） ただいま、答申案を配布させていただいた。本来であれば、答申案については、読み合わせをと考えていたが、時間の都合もあるので、各自でご確認いただきたい。1月22日に、正副会長から市長へ答申させていただく予定なので、ご承知おきいただきたい。

今回で審議会は最後となり、また、本日まで参加の委員の皆様の任期は、令和3年1月24日で満了となる。長期間の御審議に心より感謝申し上げます。

最後に、福祉部長から挨拶を申し上げます。

（福祉部長） 委員の皆様から熱い想いを語っていただきました。職員一同、この想いを受け止めて計画推進に邁進してまいりたいと思います。

事務局から任期満了についてお話させていただいたところであるが、任期満了後もいろいろな立場からご指導いただければと思います。

寒さの厳しい季節、委員の皆様にはご自愛いただいてお過ごしいただきたいと思います。

本当にありがとうございました。

6 閉 会